

大雪清流 てっぺんだより

JA Higashikawa Public relations magazine Daisetsu Seiryu Teppen Dayori

- 4 次年度へ向け反省点や改善点を確認しましょう!
- 6 今年度の栽培を振り返りましょう!
- 8 第3回 JAひがしかわ組合員ふれあい祭り
- 10 トピックス
- 11 人間ドックを受診しましょう!
- 12 農協法公布記念日にあたっての組合員・役員へのメッセージ
- 13 「農政活動の仕組み」について
- 14 来月のカレンダー



特集

担い手としての思い

JAひがしかわ青年部
東川町蔬菜園芸研究会果菜部会会計
ピーマン品目長

いなば ゆうせい
稲場 柚星



11
2024

vol.615



いなば ゆうせい 稲場 柚星

東川町出身。平成30年旭川実業高等学校を卒業後、陸上自衛隊に就職。遠軽駐屯地に配属され2年間の勤務を経て、令和2年より実家で就農する。令和6年より東川町蔬菜園芸研究会果菜部会会計兼ピーマン品目長を務める。

Strong spirit of Challenge 担い手としての思い

JA ひがしかわ青年部
東川町蔬菜園芸研究会果菜部会会計
ピーマン品目長

いなば ゆうせい
稲場 柚星

令和6年度より東川町蔬菜園芸研究会果菜部会会計兼ピーマン品目長に就任された稲場柚星さんに、今後の営農への意気込みと、青年部・蔬菜園芸研究会での抱負をお聞きしました。

農業をはじめのきっかけ

高校卒業後、公務員として陸上自衛隊に入隊し勤務していましたが、自分の中でもっと人の役に立てる仕事がしたいという思いを漠然と抱いていました。もともと農業を仕事にしたいと考えていたわけではありませんでしたが、会社退職後に農家となり野菜づくりに真剣に取り組む父の姿を見て、身近な人に美味しい野菜を提供し喜んでもらえる農業という仕事に魅力を感じ、就農しようと思いました。

営農に対する思い

現在、我が家では父が露地野菜のブロッコリーを栽培し、私がハウスでのピーマンを担当しています。野菜は1日1日の温度や湿度の違いにより生育に大きな影響を受け、病気や虫の対策も必要不可欠となります。猛暑や干ばつ、長雨や豪雨など目まぐるしく変わる気候の中で、生育環境の変化を見落とすことのないよう、植物と共存していくことが大事だと感じています。

2年前から担当のピーマンにおいて、私自身が資金管理を含め経営を任されるようになりました。自分で経営をすることにより、少しでも収益を増やすことができるよう作業の効率化や資材の選択、水の入れ方や肥料の配合といった細かいことにまで意識を向けるようになりました。

野菜栽培は難しいと感じることは多々ありますが、自分が生産した野菜を「ひがしかわサラダ」として多くの方々に食べてもらえることにやりがいを感じています。今後の目標としては、高い評価を得られよう更なる品質の向上を目指していきたいです。

青年部・蔬菜園芸研究会活動について

青年部は自分よりも上の世代の方が多くいらっしゃいますが、皆さん優しく接してくれ、野菜生産者以外とも関わられる貴重な場となっています。東川は水稻の生産が中心ではありますが、複合経営や新規就農として野菜栽培を考えている方がいれば、可能な限り自分の知識を伝え、手助けできたらと思います。

また、蔬菜園芸研究会では令和6年より果菜部会会計とピーマン品目長に任命されました。まだまだ経験が浅く、多くの先輩方がいる中での就任で気が引き締まる思いではありますが、野菜栽培の魅力をより多くの方に伝え、東川の農業を支えていきたいです。



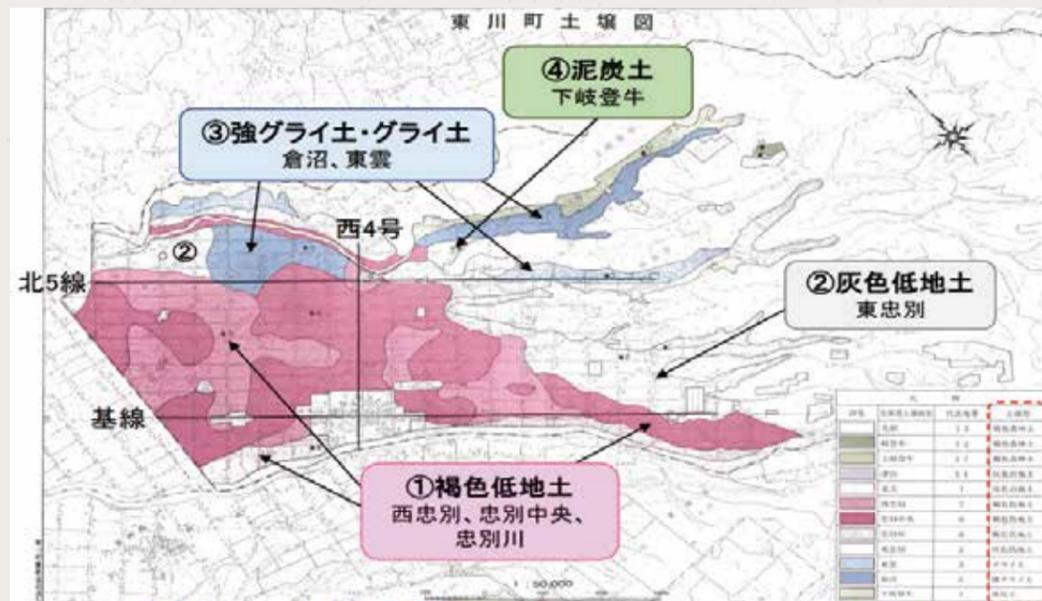
3. 基盤整備後の窒素施肥量の目安

基盤整備後2年目までの圃場では施肥設計が異なります。今一度来年度に向けて施肥設計を確認してください。他の圃場についても**育苗床は毎年、本田は3年に一度必ず土壌診断を行い、適正な施肥を行ってください。**

①圃場の土壌型を確認

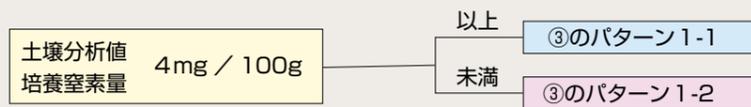
・東川町の水田は4つに分類されます。東川町の土壌マップにて各圃場の土壌型を確認しましょう。

図1 土壌マップ（施肥の手引きより）



②培養窒素量を確認（※褐色低地土のみ）

・土壌診断を実施し、圃場の培養窒素量を確認しましょう。培養窒素量に応じて施肥設計が異なるため、地力に見合った施肥設計を行いましょう。



③窒素施肥の目安を確認

・パターンごとの全層施肥量の施肥率を確認してください。※側条施肥は慣行と同様

パターン	土壌型	土壌の特徴	施工後年数	慣行に対する全層窒素施肥量
1-1	褐色低地土	・礫、砂を含む～富む ・培養窒素量 4 mg / 100 g 以上 ・排水性良好	1	60 ~ 70%
			2	90 ~ 100%
1-2	褐色低地土	・礫、砂を富む～すこぶる富む ・培養窒素量 4 mg / 100 g 未満 ・圃場を歩くとゴリゴリする	1	80 ~ 100%
			2	100%
2	灰色低地土	・粘土に富む ・排水性不良	1	40 ~ 60%
			2	80 ~ 90%
3	強グライ土 グライ土	・山際に分布 ・重粘土地	1	0 ~ 40%
			2	40 ~ 50%
4	泥炭土	・一部の地域に分布 ・地力が非常に強い	1	0% (側条のみ)
			2	40%

※普及センター資料より抜粋

次年度へ向け反省点や改善点を確認しましょう！

収穫作業や片付け等が終わり一息つく時期ではありますが、今年度の反省点や改善点を確認し、次年度の東川米生産へ繋げましょう。



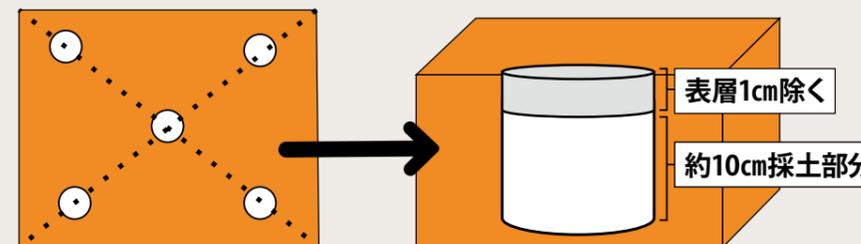
1. 令和6年度の生育状況について

- 5月中旬には気温が上がり、田植後の生育は順調でしたが、5月中旬以降については気温が低下し、初期成育が停滞した圃場が散見されました。
- 7月頃までは日照不足により生育が遅れていましたが、生育後半は天候が良く平年より若干早く進みました。
- 圃場の肥料投下成分の影響と思われる倒伏が散見されたため、次年度に向けて土壌診断を行い圃場の状態を確認しましょう。
- 天候の影響もあり、収穫作業が平年より早く進み、玄米の品質も良好な傾向でした。

2. 土壌診断について

現在、次年度に向けた全項目の土壌診断の受付を行っています。特に、今年度倒伏が見られた圃場に関しては必ず提出をお願いします。土壌診断をしてから施肥設計を行う事で適正施肥や減肥に繋がります。次年度の収量増加や肥料コストの低下に繋がります。

土壌診断のサンプルを採取する際は1ヶ所からではなく3～5ヶ所から採取することでより正確な圃場全体の状態を知ることができるため、複数個所からの採取をお願いします。また、採取する際は表層は避け、深さ10～15cm程度が望ましいです。提出する際は「氏名」「栽培品目」「圃場番号」「面積」の記載をお願いします。診断結果、施肥設計を踏まえた個別相談会は令和7年2月頃を予定しております。



●土壌診断は11月31日までに提出をお願いします

2. 栽培概況

◆施設野菜

- ・ 降雨で湿度が上がったことによる灰色かび病、石灰欠乏や窒素過剰によるカリ欠乏など生理障害の発生などが散見されたため、石灰資材の葉面散布や少量多灌水、ハウス内換気等の対策を講じましょう。
- ・ 今年病気の発生が多かった圃場は、土壌に菌が残り次年度の栽培に影響を及ぼす恐れがあるため土壌消毒の実施など検討しましょう。



【ハダニによる被害】



【灰色かび病】



【生理障害(トマト)】

◆露地野菜

- ・ 露地作物についても施設野菜類同様、高温や降雨による影響で病害虫被害が散見されました。また、圃場への滞水も散見されました。野菜類の根は酸素を多く必要とすることから圃場の滞水は作物の生育に大きな影響を及ぼすため、透排水性改善や圃場選定が必要となります。



【黒すす病】



【倒伏細菌病】



【べと病】

※詳細については各部会総会にて報告させていただきます。

3. 土壌診断 (土づくり)

①土壌診断の実施

土壌診断により現状の土壌状態を正確に把握し、施肥改善を行ないましょう。

②堆肥の投入

次年度の作付けに向け堆肥を投入し、「土づくり」をしっかり行ないましょう。

③その他

透排水性の改善として心土破碎を実施しましょう。

土壌病害対策として土壌消毒や定期的な輪作などを考えましょう。

今年度の栽培を振り返りましょう!

今年度の気象経過や自身の栽培を振り返り、課題や改善点を見つけ、次年度以降の営農に活かしましょう。

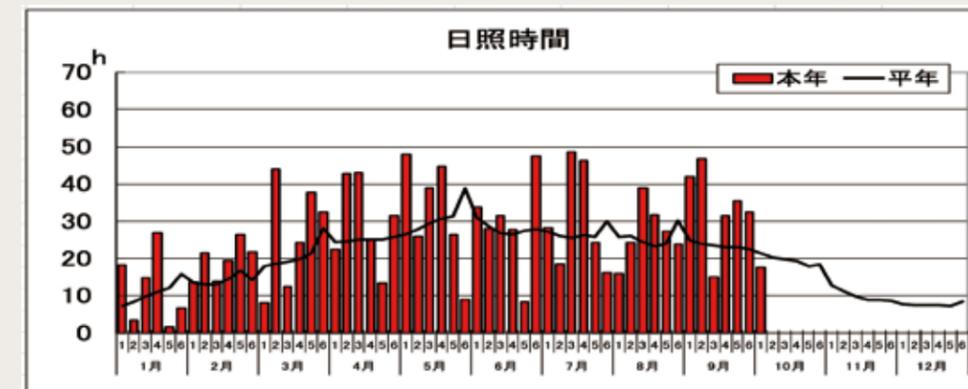
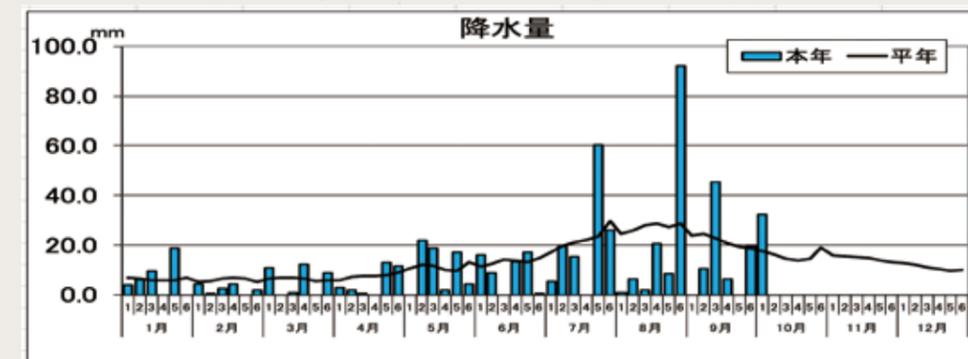
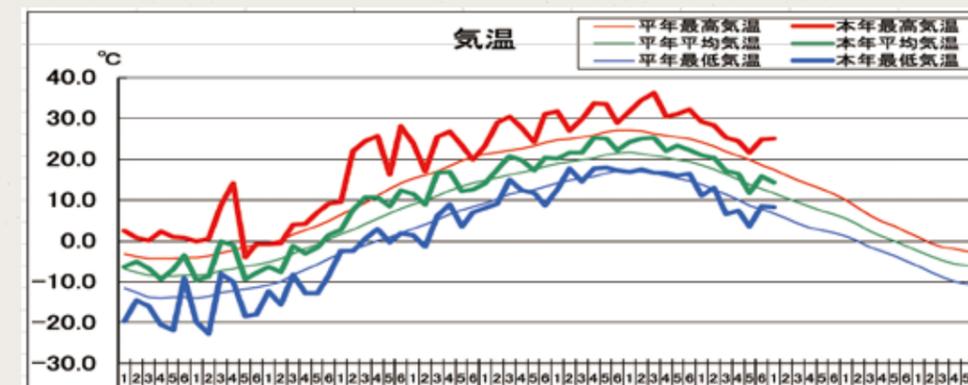


1. 今年度の気象経過 (R6)

(平年値：1991年～2020年の平均)

○期間を通して(4月～9月)最高気温・平均気温が高く推移し日照時間も平年並みだったため、作物の生育は徒長気味となり、病害虫の発生も早まる傾向にありました。

○7月下旬や8月下旬の降水により、施設野菜では灰色かび病やすずかび病、露地野菜では軟腐病や黒すす病が散見されました。





子ども縁日コーナー



石上久美子 歌謡ショー



何ン田研二& KIMIKO ものまねショー



芸能発表



第3回

開会宣言

JACひがしかわ 組合員ふれあい祭り

10月13日（日）、JAひがしかわ野菜集荷場周辺にて、組合員の皆さまへ日頃の感謝と御礼を込めて、第3回組合員ふれあい祭りが開催されました。

飲食ブースでは今年度より稼働開始した「ひがしかわライスターミナル機能性精米工場」で精米された東川米が提供され、ご来場された多くの方々に新米を味わっていただきました。また、JAひがしかわが目指す環境保全やSDGs達成に向け、資源米を活用したライスレジンの展示や籾殻を使用したバイオマス燃料の燃焼実演会が行われました。JAひがしかわでは地域のみなさんと共に農業の発展や持続可能な社会の実現に向け、今後も取り組んでまいります。



司会・進行 左より桑野紗耶加さん、齋藤洋輝さん



農産物販売



女性部ホットライスミルク無料提供



アームレスリング大会



飲食ブース



プロレス



JA 共済安全運転診断



組合員大抽選会



鏡開き

年金友の会 日帰り旅行開催

10月16日(水)、年金友の会では参加者27名と昨年より多くの方にご参加いただき、【札幌地方裁判所】【恵庭溪谷】【花ロードえにわ】を巡る日帰り旅行を行いました。

旅行のプランとしては初めてとなる裁判所訪問では、実際に裁判官や弁護人の役が割り当てられ、模擬体験をさせていただきました。参加者の皆さんからは、「貴重な体験をすることができた」「また来年の旅行も楽しみにしている」などお言葉をいただきました。

今後も皆様を楽しめる企画を提案してまいりますので、会員皆様のご参加をお待ちしております。



JAひがしかわ青年部 販売促進事業

10月20日(日)、コープさっぽろシーナ永山店で開催された豊稔祭にて、JAひがしかわ青年部がキャラバン隊として出店し、東川農産物の販売促進を行ないました。

気温が低く、時折雨が降るあいにくの天候ではありましたが、18名もの部員が参加し、東川農産物をPRしました。東川米・ひがしかわサラダの販売の他、東川米の試食・アンケートを実施し、多くの来場者に東川米の魅力や美味しさを知っていただくことができました。消費者からはたくさんのあたたかい言葉をいただき、今後の営農活動の励みとなりました。



JAひがしかわ青年部 屑米移送協力事業

9月14日から10月12日の毎週土曜日、農協一元集荷事業の一環としてJAひがしかわ青年部による屑米移送協力が行われました。

収穫作業がある中、今年度も多くの部員が参加し、計5日間の日程で約5,800俵の集荷実績となりました。

生産者の皆様におかれましては青年部事業へのご理解とご協力を頂きありがとうございました。



学社連携推進協議会 体験農園稲刈り実施

10月8日(火)、東川ゆめ公園体験農園にて学社連携推進協議会体験農園専門部会主催の稲刈りが行われました。

稲刈り体験には東川の中学生、小学生、学童が参加し、JAひがしかわ青年部、女性部による指導、補助のもと、機械や鎌を使って収穫をしました。子供たちは作業を通じて、普段、何気なく食べているお米を育てることの喜びや大変さに触れるきっかけとなりました。収穫されたお米は食育活動に活用されます。



早期発見、早期治療のために 人間ドックを受診しましょう！

ご家族、大切な方のために、そして何よりご自身のために受診をおすすめします。

■旭川厚生病院「人間ドック」予約状況

2024年12月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
×	×	×	×	×	×	×
8	9	10	11	12	13	14
×	×	×	×	×	×	×
15	16	17	18	19	20	21
×	×	×	×	×	×	×
22	23	24	25	26	27	28
×	×	×	×	×	○	×
29	30	31				
×	×	×				

2025年1月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			×	×	×	×
5	6	7	8	9	10	11
×	○	×	○	×	○	×
12	13	14	15	16	17	18
×	×	×	○	×	○	×
19	20	21	22	23	24	25
×	○	×	○	×	○	○
26	27	28	29	30	31	
×	○	×	○	×	○	

正組合員(本人・同居家族)
准組合員限定

人間ドック検診費用助成

厚生病院での一般受診料金
44,000円が

31,900円に!

※オプション検査は助成対象外

男性：月曜日・水曜日・金曜日、女性：火曜日・木曜日

予約表の見方：○10名以上の空き △残りわずか ×予約が埋まっています

お申込み順となるためご希望日が埋まっている場合もございます。

人間ドックの申し込みや、お問い合わせは営農企画課 (Tel82-2124) まで

家畜感謝祭斎行

10月8日(火)、忠別公園「家畜感謝の碑」前にて、農民と共に農業の発展に貢献した家畜たちへ感謝の祈りを捧げる家畜感謝祭が執り行われました。

畜産振興協議会会長であるJAひがしかわ牧組合長は、「東川の歴史を振り返ると馬や牛などの家畜が農業における労働力として大きな役割を果たしてきた。現代でもその命をいただき、食料として人々の暮らしを支えている。感謝の気持ちを持ち、食の大切さを伝えていきたい」と挨拶をされました。



第4回「農政活動の仕組み」について

コロナ禍による農畜産物の需給緩和、肥料・飼料をはじめとする生産諸資材の価格高騰、気候変動の抑止に向けた環境負荷軽減の取組み、年々甚大化する自然災害による農地・施設等の損壊、深刻な労働力不足など、我々JAグループの努力だけでは解決できない課題が山積しております。

食料安全保障の強化、持続可能な北海道農業の確立のためには、我々の努力だけではなく、国の支援が不可欠であります。そのカギとなるのが農政活動であります。

農政活動とは、組合員一人ひとりの声をJA・地区で集約し、みんなの声として、農業・農村・JAに理解のある国会議員に対し、現場の実態を届け、その課題の解決につながる政策を実現してもらう一連の活動・運動であります。

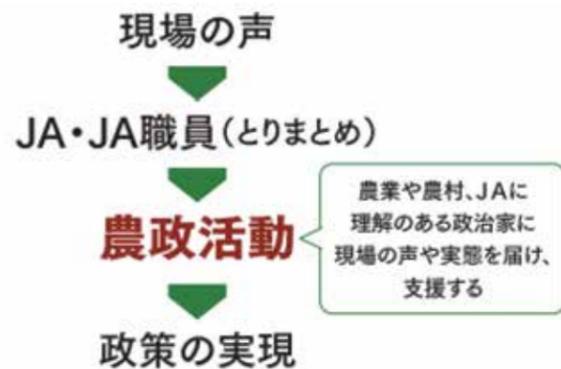
令和5年度は、食料・農業・農村基本法の改正や、作目別の経営安定対策をはじめとする農林水産予算の確保に向け、JAグループ北海道では農政活動を展開しました。その結果、予算の確保をはじめ、さまざまな政策支援が実現しました。しかし、これですべての課題が解決する訳ではなく、生産現場には、まだまだ課題が山積しております。

生産現場の実態を届け、我々の求める政策を実現させるためには、国会議員による国や行政への積極的な働きかけが重要です。そして、そのような議員を支えていくことも農政活動の柱の一つであります。

国会(政治)は数が力です。国を動かすには、国会に一人でも多くの農業やJAの理解者を増やすことが重要であります。そのために、我々JAグループの代弁者として、先頭に立って多くの国会議員に働きかけ、農業やJAの理解者を増やし、まとめていくことができる議員、つまり、JAグループの代表議員が必要なのです。



【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、来年夏頃まで連載いたします。次回(第5回)は、参議院選挙の仕組みについて紹介します。



東野ひでき公式
LINEアカウントへの
登録はこちらから



農協法公布記念日にあたっての組合員・役職員へのメッセージ



北海道農業協同組合中央会
代表理事長 樽井 功

昭和22年11月19日に農業協同組合法(農協法)が公布され、今年で77年を迎えました。戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、今日に至っております。

近年の農業・農村を取り巻く環境は一段と厳しさを増し、世界的な気候変動による猛暑や豪雨などによる各作物の収量および品質の低下、国際的な食料需給事情の変化や急激な円安の進行による生産資材の高止まりが農業経営に甚大な影響を与えております。

本年は、農政の憲法とも言われる食料・農業・農村基本法が改正され、国民一人一人の食料安全保障の確保と環境と調和のとれた食料システムが基本理念として位置付けられるなど、世界の食料需給の不安定化による輸入リスクの増大、環境問題等を踏まえた内容となっており、日本の農政は大きな転換点を迎えております。

かかる状況のもと、本年は3年に1度のJA北海道大会が開催され、将来ビジョンである【「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」～ひとを育み、ひとと歩む～】が上程されます。

組合員・JA・連合会・中央会が各々の役割を再認識し、一丸となって大会議案を着実に実践していくことが社会からの要請に応えることにもなります。

最後になりますが、JAグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の拠り所とし、今後とも組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げ、農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。

2024年 11月の予定

1	金
2	土
3	日 文化の日
4	月 振替休日
5	火 5の付く日（スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き）
6	水
7	木
8	金
9	土
10	日 HUCカード ポイント5倍
11	月
12	火
13	水
14	木
15	金 5の付く日（スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き）
16	土
17	日
18	月
19	火
20	水 HUCカード ポイント5倍
21	木
22	金
23	土 勤労感謝の日 北海道神宮新嘗祭
24	日
25	月 5の付く日（スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き）
26	火
27	水
28	木
29	金
30	土
2024年 12月の予定	
1	日
2	月
3	火
4	水
5	木 5の付く日（スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き）
6	金
7	土

理事会の動き

第11回 理事会 日程：令和6年10月23日（水）

【議決事項】

- 議案 1号 8月末定例監査の報告について
- 議案 2号 令和6年産東川米の追加精算について
- 議案 3号 冬期合同農協懇談会の開催について
- 議案 4号 理事者との利益相反取引について
- 議案 5号 与信額の追加設定について
- 議案 6号 寄付金の支出について

『年金友の会』会員募集中！

あなたも「年金友の会」の会員になりませんか？
年金友の会会員のお友達も大歓迎!! 一緒に楽しみましょう！

ご入会要件

- ◆ JA ひがしかわで公的年金を受け取りされている方
- ◆ 年会費：お一人様 1,000 円

会員特典

- ◇ 親睦旅行やパークゴルフ大会等、楽しい企画が盛りだくさん
- ◇ 新規入会者には、素敵な入会記念品をプレゼントします。



年金友の会会員様限定

1. JA ひがしかわの組合員の方、または加入を希望する方
2. JA ひがしかわ SS の生活用灯油定期配送を利用している方、または利用を希望する方
(※電話での都度注文は定期配送ではありません。)
3. 灯油代金の引き落としを定期配送契約名義人の年金受取口座で自動引落を利用している方、または利用を希望する方

灯油定期配送1ℓあたり2円引き

詳しくは事務局金融課 (Tel82-5010) へお問い合わせください。

農協文庫 新刊

美しく魅せる
ナチュラルドライフラワー

薬膳おむすび

JAひがしかわ事務所前エントランスにて展示しておりますので、ぜひお立ち寄りください。

●葬儀・法要のご用命は…24時間フリーダイヤル

JA事業推進係 0120 - 82 - 2125 へ